

① 特許庁（東京都千代田区）

審査部門の一部（西日本拠点の設置）

提案の背景

全国有数の製造業の集積

- ・ 事業所数は全国1位、従業者数は第2位、製造品出荷額等は第3位の全国有数の集積
- ・ 業種別では基礎素材型産業の割合が高く、様々な企業がバランスよく集積

関心の高さに比して低い特許出願数

知財への関心は非常に高い一方で、
知財活動は不十分

- ・ (特許庁) 知財総合支援窓口支援件数：全国1位（7,098件：H26）



都道府県別の中小企業特許出願件数



経済の活性化の強力なエンジンとなるイノベーションを創出するため、大阪に集積するものづくり企業が
革新的、独創的技術等を知的財産として戦略的に活用していく環境の整備が不可欠

移転により期待される効果

国	<ul style="list-style-type: none">・ 世界最速かつ最高品質の知財システムの構築 産業活動の実態を踏まえた技術理解が促進され、審査品質が向上・ 大学等研究機関との連携・交流による人材基盤の強化・ 大規模災害時のバックアップ体制の確立
府	<ul style="list-style-type: none">・ 都市としての経済機能強化 知財活用の重要性が企業に浸透し、知財戦略の理解・実践促進 ものづくり産業の振興と競争力の強化により日本の成長をけん引する 東西二極の一極としての社会経済構造構築

移転候補地

知的創造の拠点



グランフロント 大阪

大阪市北区
(JR大阪駅)

産業振興の支援拠点



マイドーム おおさか

大阪市中央区（地下鉄堺筋本町駅）



大阪南港 ATC

大阪市住之江区
(ニュートラム
トレードセンター前
駅)

② 中小企業庁（東京都千代田区）

提案の背景

「中小企業のまち大阪」

- ・「中小企業のまち大阪」と言われるように、大阪府内には数多くの元気な中小企業が集積。
- ・全国の中小企業の7.8%が立地し、約247万人が働いている。
- ・府内の製造業者から出荷された製造品 出荷額のうち、61.8%が中小規模事業所。この割合は全国の49.5%を大きく上回る。

全国有数の製造業の集積

事業所数は全国1位、製造品出荷額等は第3位と、全国有数の工業地帯となっており、高い技術力を持つ中小企業も多数存在



株式会社三共金機造所（大阪市西淀川区）
「球状バナジウム炭化物材料（KSヘッド）」



株式会社丸エム製作所（大阪府大東市）
「マグネシウム合金ねじ」



大阪の元祖!ものづくり

幅広い業種が多様な地場産業を形成し、
中小企業の活力が大阪経済の源

移転により期待される効果

国

- ・効率的で効果的な施策の立案
特定分野に偏らない中小企業の現状やニーズを把握し施策に反映させることが出来る。

府

- ・大阪の経済中枢機能の強化
経営環境の変化や必要な支援など事業者の声が施策に反映されやすくなり、より現場に即した施策をスピーディーに実施

移転候補地

大阪南港ATC



大阪市住之江区（ニュートラム トレードセンター前駅）

③ 工業所有権情報・研修館（東京都千代田区）

知財活用支援と研修部門の一部（西日本拠点の設置）

提案の背景

全国有数の製造業の集積

- ・ 事業所数は全国1位、従業者数は第2位、製造品出荷額等は第3位の全国有数の集積を誇る
- ・ 医薬品製剤製造業や太陽電池モジュールなど、次代を担う業種の集積も見られる

中小企業の海外展開の拡大

- ・ 企業の知財戦略（権利化・秘匿化の選択等）や、模倣品問題への適切な対応など海外知財戦略の重要性は増加

大阪の中小企業が有する多様で高度な技術を有効に活用して国際競争力を高め、産業を活性化させ、雇用を拡大させていくことが重要

→ INPITによる迅速・機敏かつ伴走的な支援が求められる

大阪府の取り組み

大阪府開催セミナー (Mbio Cafe: 一例)	年度	Mbio Cafe (知財・技術関連テーマ)	
		回数(回)	参加人数(人)
海外ビジネス展開時に知財面で気を付けるべきポイント	22	10	141
	23	18	384
	24	38	808
「海外企業」とのライセンス	25	56	1,472
	26	39	918
中国の知財活用における留意点	計	161	3,723

移転により期待される効果

国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西圏の大学等研究機関との連携・交流促進 ・ 審査機能の人材基盤強化 ・ 大規模災害時のバックアップ体制の確立
府	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市としての経済機能強化 創業支援体制の整備、成長志向型の創業・ベンチャー企業の輩出 ものづくり企業の知財戦略の推進、海外進出戦略の支援基盤整備による国際競争力の強化・市場開拓の促進

移転候補地

知的創造の拠点



**グランフロント
大阪**

大阪市北区
(JR大阪駅)

産業振興の支援拠点



**マイドーム
おおさか**

大阪市中央区
(地下鉄堺筋本町駅)

中小企業支援の拠点施設



東大阪市荒本北
(近鉄荒本駅)
**クリエイション
コア東大阪**

南館



**大阪南港
ATC**

大阪市住之江区
(ニュートラム
トレードセンター前駅)

4

医薬基盤・健康・栄養研究所が所管する

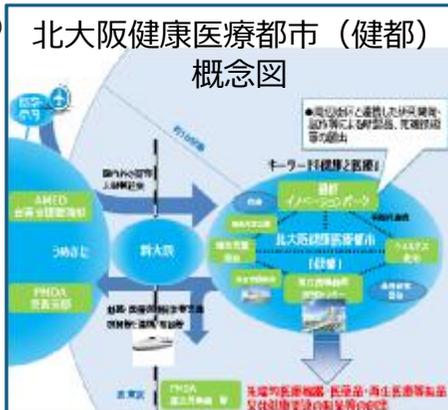
「国立健康・栄養研究所」

(東京都新宿区)

提案の背景

「健康と医療」のクラスター形成

- 国立循環器病研究センター（吹田市）が平成30年度を目途に、吹田操車場跡地に移転建替え
 - これを契機として「健康と医療」をコンセプトに、この地（北大阪健康医療都市（健都））に、様々な機能の集積をめざしている。
 - 健康（栄養）分野のナショナルセンターである「国立健康・栄養研究所」は、健都の研究開発力を高める機関としてイノベーション創出に必要。
- 生活習慣病・健康寿命延伸などの施策構築におけるエビデンスある取組が不可欠。研究機関との連携需要は高く、時宜に合う。
- ライフサイエンス分野の大阪のポテンシャル
 - 健都が位置する北大阪バイオクラスター（大阪北部）には、大阪大学や医薬基盤研究所といったライフサイエンス分野で日本を代表する研究機関が立地
 - 国家戦略特区では、医療分野で府全域が指定
 - AMED・PMDAといった支援機関が東京以外で、唯一立地



医薬基盤研究所との統合

- 健都に近接する「彩都」には、統合後の法人本部のある「医薬基盤研究所」がすでに立地。

移転により期待される効果

国	<ul style="list-style-type: none"> 新たなイノベーション創生・研究開発の促進（国の経済成長にも好影響） 企業との共同研究開発の増加による法人運営にも貢献 両研究所が近接している方が、法人が掲げる統合によるシナジー研究の推進・法人運営の点からも効果的
府	<ul style="list-style-type: none"> 健都における健康（栄養）分野の研究開発力が高まることで、より特色のある医療クラスターへと発展 生活習慣病対策などの健康栄養分野や健康寿命延伸などの府内の政策課題の解決・地域経済活性化などに貢献

- 新たなイノベーションの創出で地方創生、日本の成長牽引
- 健都・北大阪バイオクラスター（大阪北部）の成長・発展

移転候補地

北大阪健康医療都市（健都）<吹田市・摂津市>

- ・ 広域交通インフラ（空港・新幹線・高速道路）も近接
- ・ 大阪都心部へのアクセス至便（新大阪駅・大阪駅までJRで約10分）

イメージ図



⑤ 医薬品医療機器総合機構【PMDA】（東京都千代田区）

再生医療分野の審査機能の関西支部への権限委譲

提案の背景

ライフサイエンス分野の機関集積

- ・ライフサイエンス関連企業、国内有数の大学・研究機関が集積する「北大阪バイオクラスター」
 - ▶道修町の製薬企業、彩都のライフサイエンスパーク 等
 - ▶大阪大学、国立循環器病研究センター、医薬基盤研究所 等
- ・創薬等の支援機関が設置
 - ▶ H25.10 PMDA関西支部
 - ▶ H27.4 日本医療研究開発機構（AMED）創薬支援戦略部西日本統括部

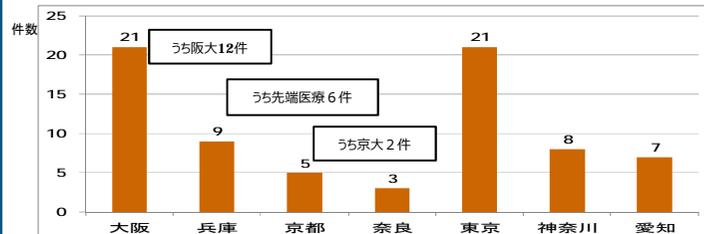
さらなる環境の充実

- ・PMDA関西支部の機能拡充⇒「薬事に関するすべての相談」が完結
- ・PMDAにおいて「特区薬事戦略相談」制度の創設や重点的な支援体制の整備

優位性のある再生医療分野

- ・京都大学iPS細胞研究所（CiRA）、先端医療振興財団、理化学研究所、大阪大学など、再生医療分野をリードする大学・研究機関が集積、すでに人材も数多く存在
- * 大学等との人材交流による人材育成を図るPMDAの方向性にも合致

<再生医療臨床研究実績（関西：38件、関東：30件、中部：12件）>



出典：ヒト幹指針への適合性が承認され我が国で実施されているヒト幹細胞臨床研究（H26.11.6現在）

権限委譲により期待される効果

国	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者のアクセス利便性が高まり、PMDAとの連携が強化 ・アカデミアが保有する優れたシーズの研究開発が加速化 ⇒ 国全体の再生医療の早期実用化
府	<ul style="list-style-type: none"> ・革新的再生医療等製品の研究や製品開発が促進 ・研究者や企業が集まり、研究開発が更に活発化 ・大学・研究機関とPMDAとの人材交流の活発化、研究者の人材育成促進

⇒再生医療分野における研究開発や早期実用化の促進

移転候補地

PMDA関西支部（グランフロント大阪・大阪市北区）

〔交通アクセス〕 JR大阪駅、阪急梅田駅、阪神梅田駅すぐ
⇒空港、新幹線からのアクセスが非常に良く、他地域の研究者にとって利便性も高い。

